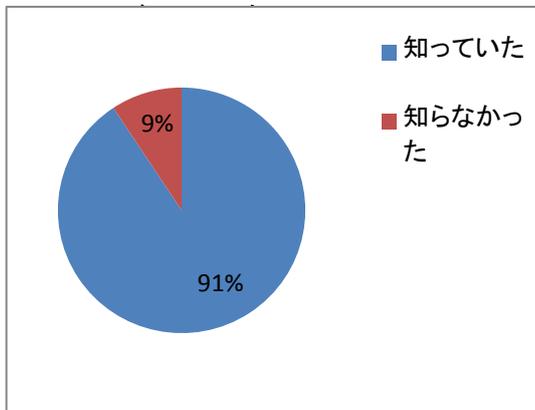


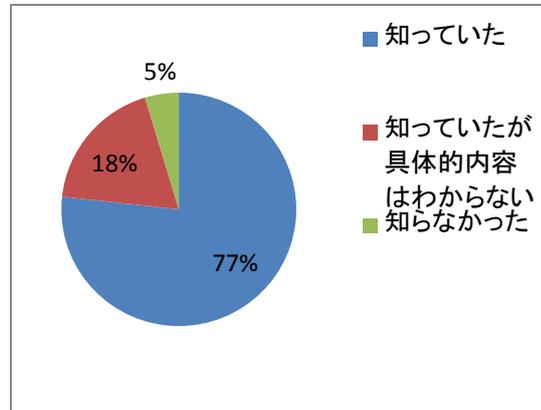
事業系ごみの減量と再資源化を進めるためのアンケート調査

アンケート発送総数 103
アンケート返送数 43

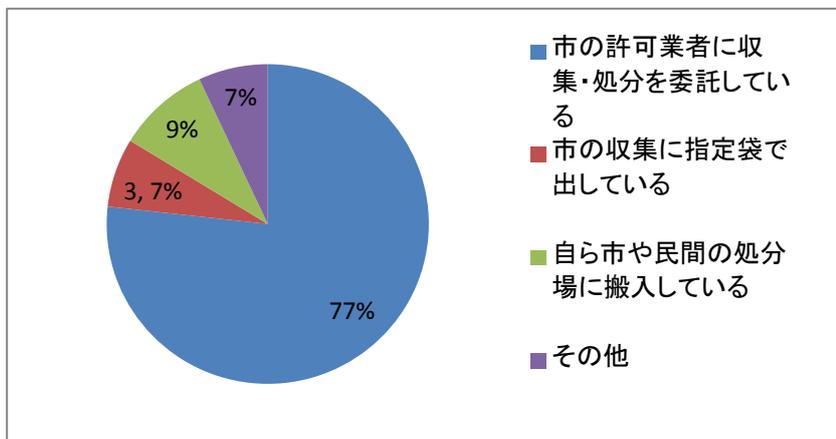
II-1 廃棄物処理法について



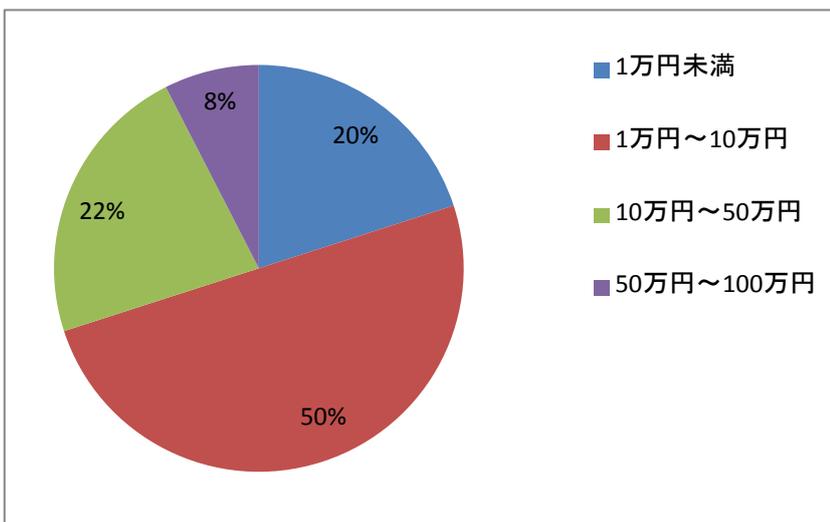
II-2 一般廃棄物の処理について



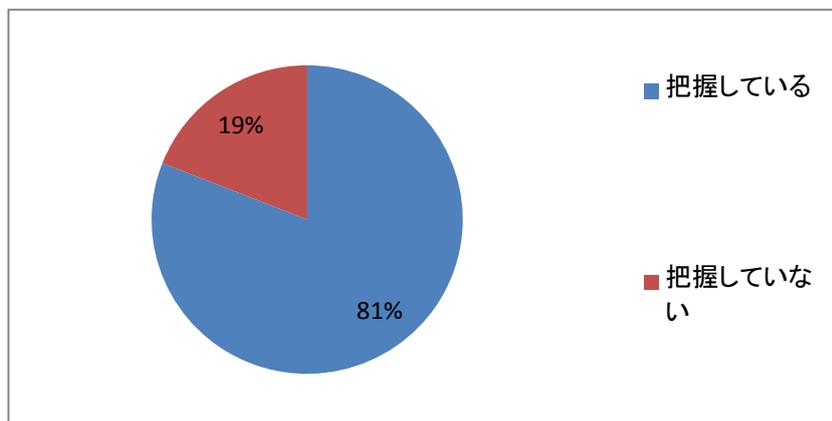
II-3 処分方法



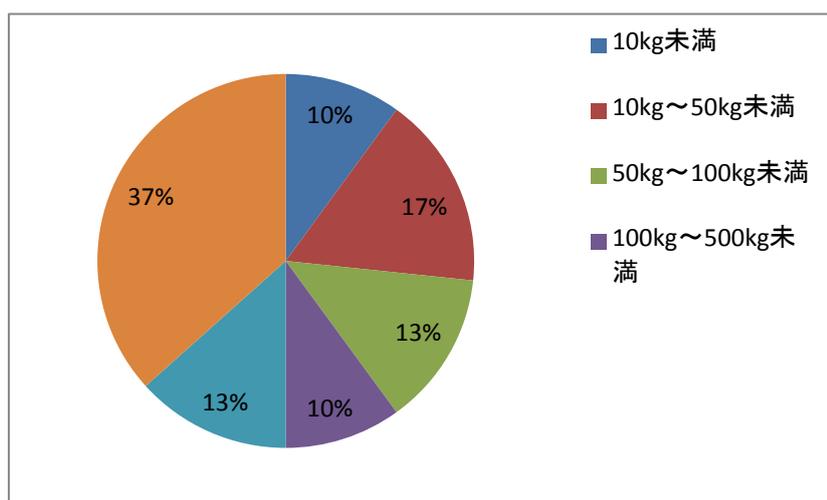
II-4 1ヶ月のごみ処理費



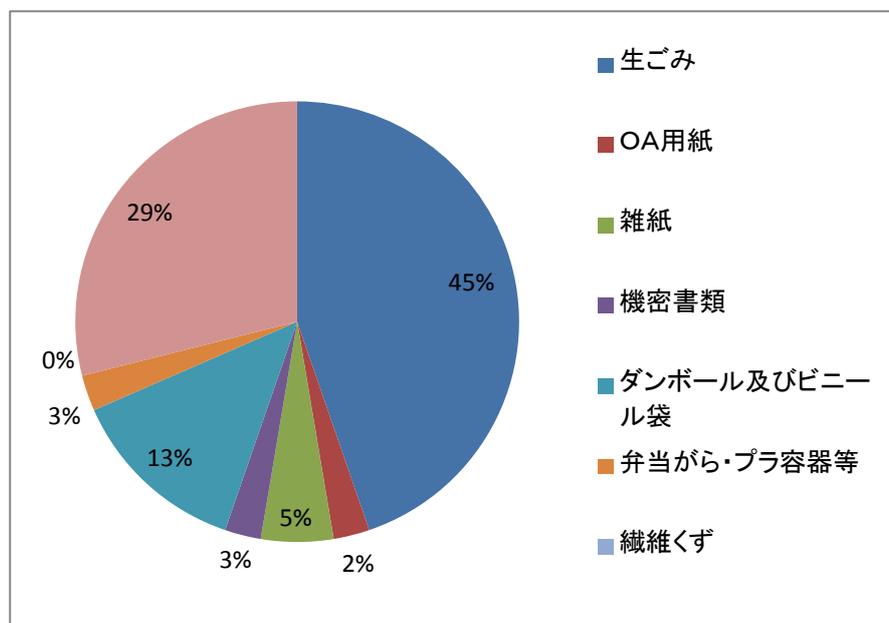
II-5 ごみの種類・量の把握



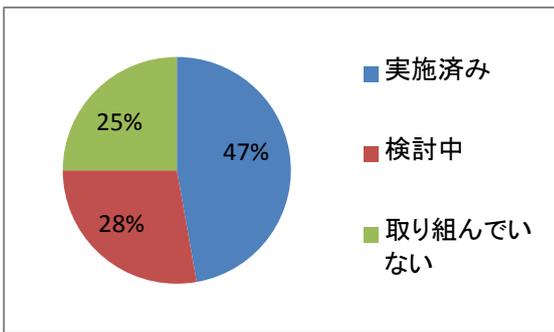
II-6 1ヶ月のごみの量



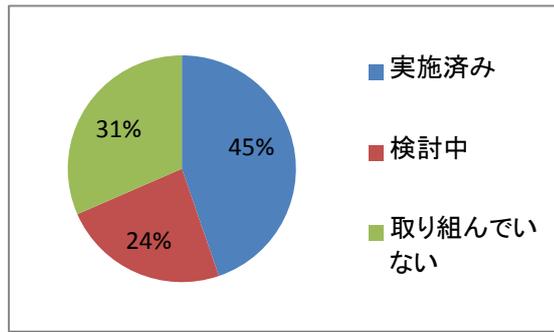
II-7 主なごみの種類(1つだけ)



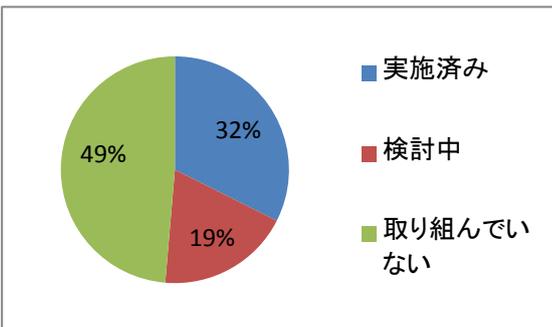
II-8 減量推進の取組
1 事業活動の見直し



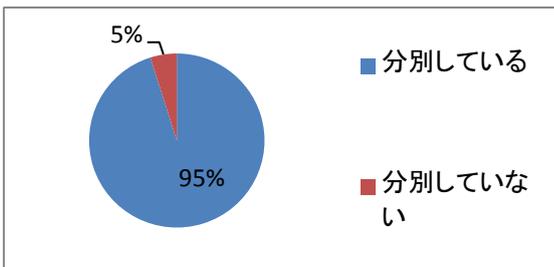
2 マニュアルや分別表の作成



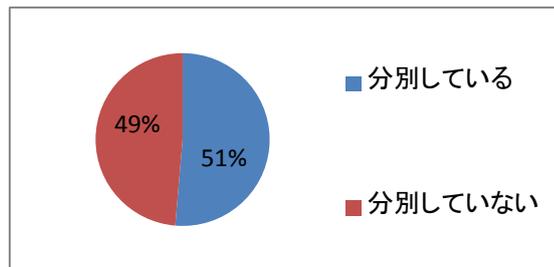
3 専門部署や管理者の設置



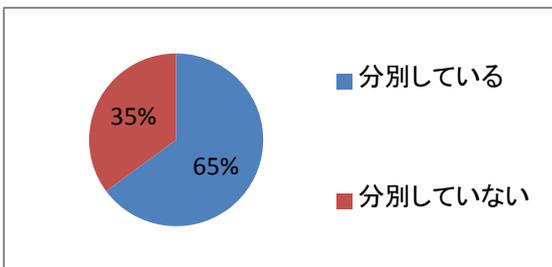
II-9 リサイクルのために分別してるもの
1 新聞、ダンボール



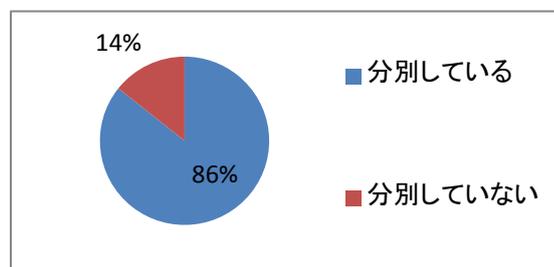
2 コピー用紙などのOA用紙



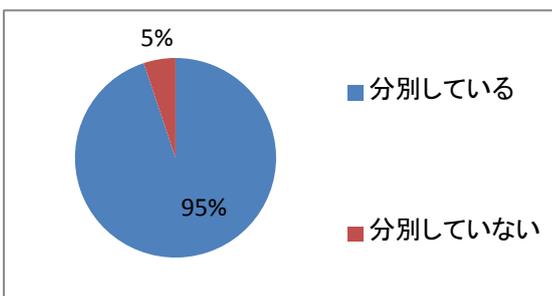
3 雑紙(菓子箱、食品外箱等)



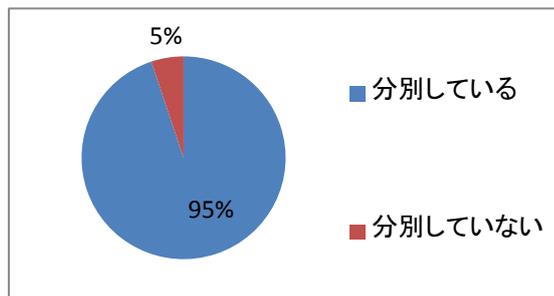
4 機密文書



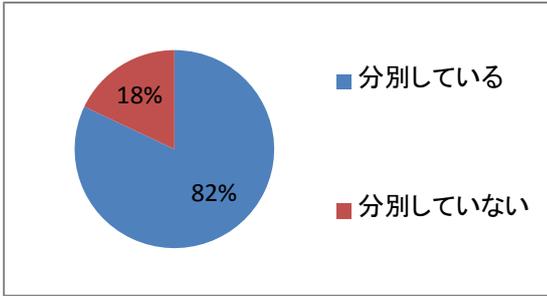
5 びん



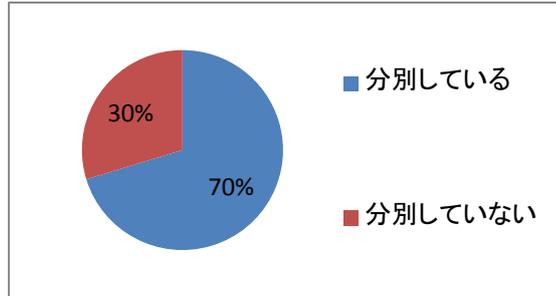
6 飲料用空き缶



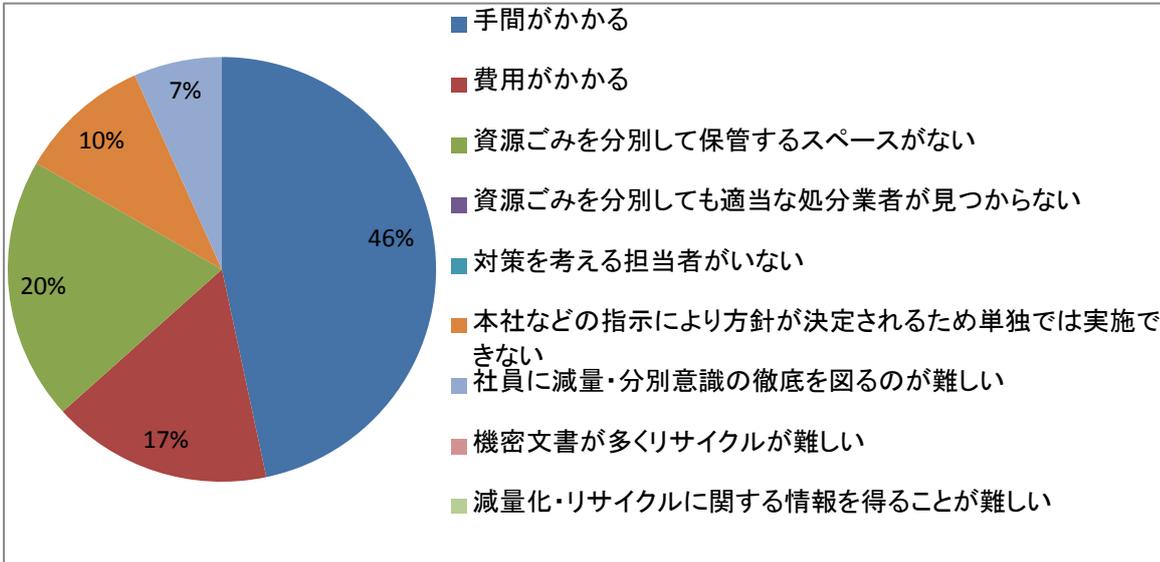
7 ペットボトル



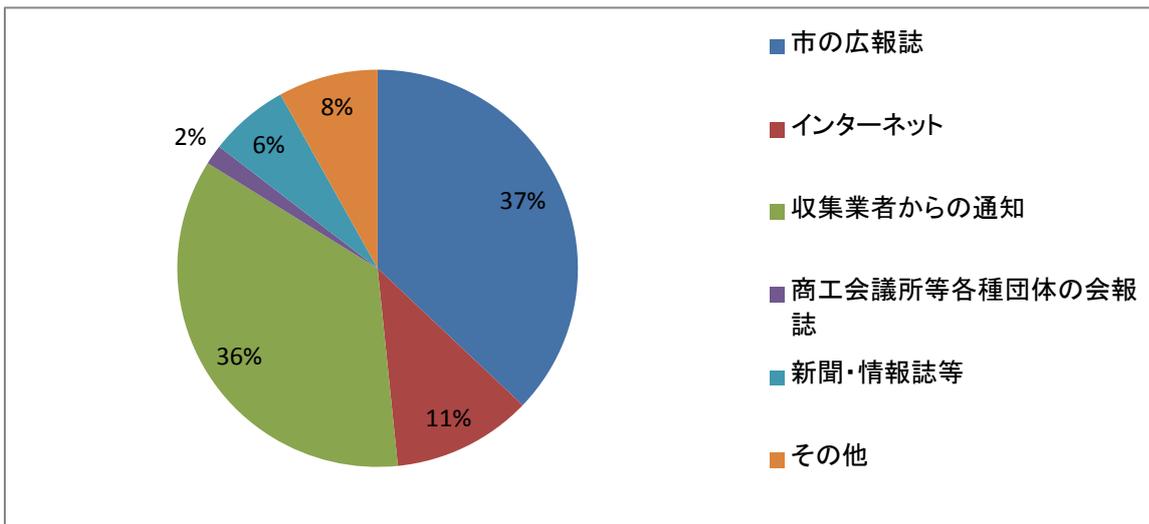
8 生ごみ



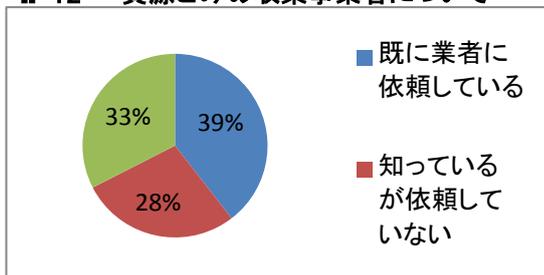
II-10 問題点



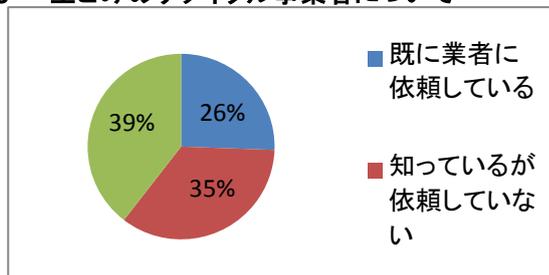
II-11 情報収集について(複数回答)



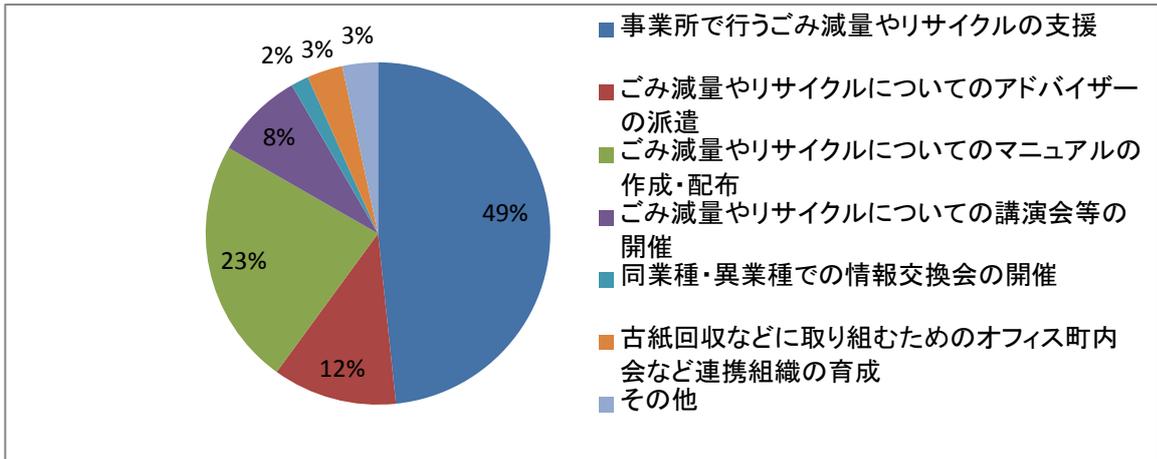
II-12 資源ごみの収集事業者について



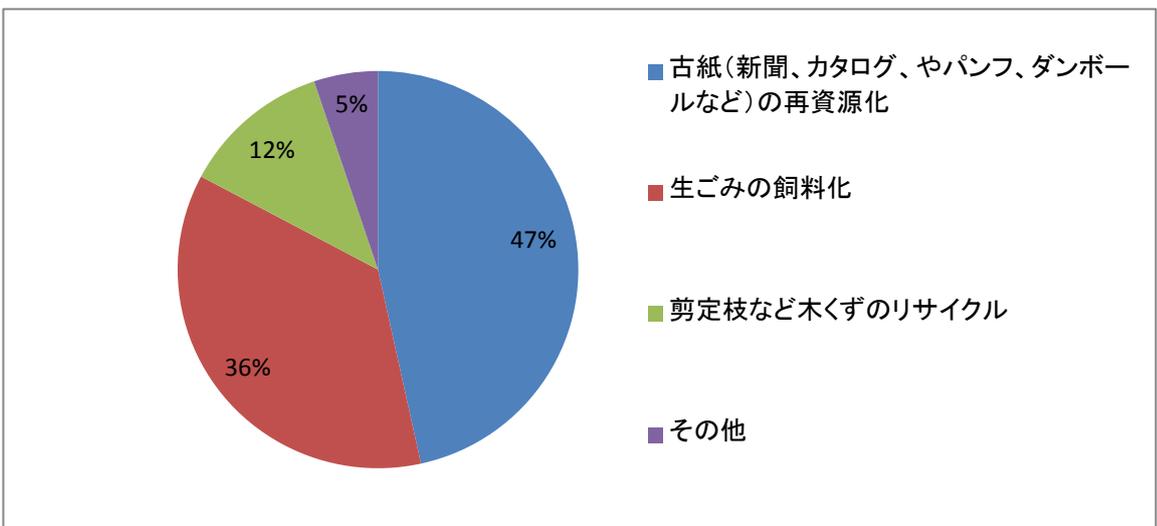
II-13 生ごみのリサイクル事業者について



III-1 出雲市に望む施策(複数回答)



III-2 最優先の再資源化(複数回答)



評価

廃棄物処理法における排出事業者の責任についてはほとんどの事業者が知識として持っていると思われる。しかし、それを分別しリサイクルとなるとまだ方法やリサイクル業者などの情報がまだまだ少ないと思われる。また、ダンボール等の古紙のリサイクルは大体の事業所が行っているが、それ以外の金属くずなどのリサイクルはまだまだ徹底されてない。それは分別等の人員の負担や置き場所の問題等があると思われる。それと、市への要望にリサイクルの支援とあるが資金的な支援なのか情報としての支援なのか再調査が必要と思われる。